

小さな種から、  
幸せの木を育てよう！

# まめの木 だより

ano 和建设

VOL. 188

2022年 | 春号

[巻頭特集] Tidypをはじめよう	3
[連載]	
OKAYAMA meets KOCHI	2
「ピ・ウェル追手筋」からはじまる New style in mansion	8
分譲マンション ピ・ウェル オーダーメイド図鑑	10
[カノウの住まいづくり] 変化を楽しむ自在な住まい	12
社員コラム	14
まめの木日記	16



収納のなかから自分らしい毎日を…



巻頭  
特集

# Tidyup

をはじめよう

収納にこだわり続けてきた  
和建設「SHINKAの家」では、  
整理収納アドバイザーの Tidyup とタッグを組み、  
さらに進化した収納設計をご提案しています。  
そこで今回はタイディアップの主宰であり、  
整理収納デザイナーの片岡牧子さんに、  
自分らしい毎日を手に入れる収納術を教わりました。

## 倉敷緞通 × base works

家で過ごす時間が格段と長くなり、家こそが“人生のメインステージ”となったように思います。だからこそ、その入口となる玄関には、いつもとっておきのものをスタンバイさせましょう。

モダンな彩りの【倉敷緞通】の玄関マットは、岡山県倉敷市でかつて全国屈指の生産量を誇っていた「イ草」を使ってつくられる伝統工芸品です。名付け親は柳宗悦で、印象的な縞柄のデザインは芹沢銈介によるもの。原材料の高騰や職人の高齢化が重なって昭和61年に製造が途絶えていましたが、地元有志の復活プロジェクトを機に瀧山雄一さんが後継者として名乗りを上げ、平成5年に復活させました。

倉敷緞通の材料はイ草・紙・糸の三つ。表地のリング糸や、数本のイ草を紙で一つに巻いた裏地の「ヌキ」も瀧山さんがつくります。それらを大きな織機で織っていくなか、瀧山さんが最もこだわるのは「デザインの気持ちよさ」だといいます。「単純なデザインでも一分(約3mm)の差でしっくりくるもの・こないものがある。本当の気持ちよさは職人が肌で感じて調整していくものであり、つくり続けることでしか生まれてこないです」。さらに使い心地でも気持ちよさを実感できます。イ草が湿気を吸うので、夏はサラッとした肌触りで冬は冷えを感じません。ホコリが出にくく、手入れは掃除機をかけるだけでOK。それで10年以上使い続けることができます。長年使い続けても気持ちよく感じるデザインと使い心地、それが倉敷緞通の真髄なのです。

そんな玄関マットからの次の一步は、極上の履き心地がするルームシューズ。高知県の山間地域・物部にあるレザー工房【base works】がつくる一足です。代表の勝見友彦さんは、以前は大企業で大量生産の商品を販売する仕事に就いていましたが、“つくった人の顔も、使う人の顔も分からない”ことに疑問を抱き、「きちんと人に関われる仕事をしたい」とものづくりの世界へ転向。東京と高知の二拠点に、レザー教室とオーダー制作を行う工房を立ち上げました。

玄関マット【倉敷緞通】 18,000円  
kurashikinote.jp ☎086-482-3478

ルームシューズ【base works】 30,800円～  
baseworks.org  
※通販はKOHOROオンラインショップにて



OKAYAMA  
meets  
KOCHI  
#002

岡山と高知の  
良きものが出会うとき  
暮らしはもっと豊かになります。

足もとに  
しあわせが  
ある玄関。



古民家を改修している高知の工房では靴を脱いで作業をするようになりましたが、硬い床板で長時間体重を支えるため、体が疲れることに気がきました。そこで革靴をつくる知識と技術を生かし、フットベッド(立体的な中敷)を入れたルームシューズを製作。足裏に凹凸があることで姿勢や動作が整い、履いているだけで足の疲れがほぐされます。さらに、base works が使っている革は、イタリアフィレンツェのタンナーが植物性タンニンとピュアな牛脚油で時間をかけてつくっているもので、使い込まずとも最初から柔らかい質感で足を優しく包んでくれます。「僕もいろいろな仕事をしてきたから、人それぞれ大変な思いをしていることは分かるんです。だからこそ、家に帰ってルームシューズを履いた瞬間にほっとしてほしい。些細なことでも人生が良いほうに変わっていくこともあると思うんです」と勝見さんは語ります。

家への一步をさらにしあわせなものにしてくれる、職人のこだわりと素材の魅力。玄関からとっておきの「おかえり」が聞こえる気がします。

—まずは、片岡さんが代表を務める「Tidyup」について教えてください。

「tidy up」は日本語で「整理整頓」という意味の言葉です。私が主宰する「Tidyup（タイディアアップ）」は、その名の通り整理収納サービスを提供しており、グループで行うオンライン片付けコーチングや、プライベートコーチングなど、日々忙しい女性たちを応援する整理収納のコンテンツを提供しています。

はじめたきっかけは、私自身が育児と家事に追われて気持ちに余裕のない日々を送っていたことです。以前から関心のあった「整理収納」を学び実践したところ、家で過ごす時間がとても穏やかになり、同じ悩みを抱えている方の手助けになればと思いました。

昨年から和建設SHINKAの家とのコラボレーションをスタートし、収納のなかからも暮らしを豊かにしていくタイディアアップハウスのご提案を行っています。

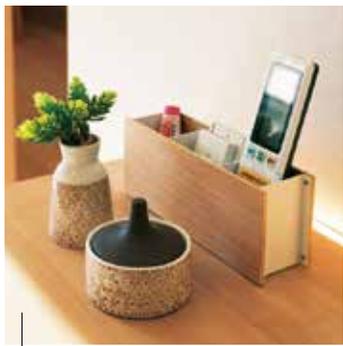
—片岡さんがタイディアアップをする上で、もっとも重視されていることは？

その人が大切にしているものを、とにかく大切にすることです。



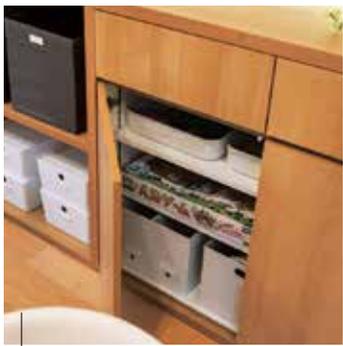
#### お掃除グッズは場所が大事

パンやお菓子づくりが趣味なら、お掃除グッズはキッチン近くにあるのがベスト。自分にとっての使いやすさが一番大切に考えましょう。



#### ちよい置きもすっきりと

リモコンや保湿クリームなど、ついテーブル上に置いてしまうものは「ちよい置き対策」ですっきりまとめましょう。



#### おもちゃはシンプルなケースに

外箱が必要なものは扉付き収納へ。不要なものはケースに入れ替えてすっきりと！ケースはシンプルなデザインを選ぶと成長後も長く使えます。

## 暮らしがハッピーになる、Tidyup テクニック



#### 計画的な隠し方

モデムなど目にする必要のないものは隠せる収納に仕舞いましょう。ただしコンセントの設置はお忘れなく。



#### お茶を選ぶ楽しさ

キッチンの引き出しを一つ丸ごと「ティータイムステーション」に。日常のなかにお茶を選ぶ楽しさを演出できます。



#### ラベリングでおしゃれ度アップ

整理収納をキープするにはラベリングが重要です。ラベルのデザインにこだわれば、おしゃれ感が高まります。



#### 開けて嬉しい演出を

お酒をずらりと並べた「Barステーション」はダイニングのそばに。次はどのお酒を飲もうか選ぶ楽しさが食卓をさらに盛り上げます。



#### 書類は一ヶ所に集める

郵便物も、学校や園からのお便り・連絡帳も、目を通さないといけないものはすべて「情報ステーション」に集合！家事の合間に確認できます。



#### 思い出は飾って楽しむ

納戸の奥に仕舞いがちな子どもたちの作品や、なかなか開かない家族のアルバムは「思い出ステーション」でギャラリー風にディスプレイ。



タイディアアップのポイントの一つに、「〇ステーション」と名前をつけて収納の位置を決めていく方法があります。

たとえば、高知のモデルハウスの場合、ゲストを招いてホームパーティーをするのが好きなご家族をイメージしていますので、ダイニングテーブルのすぐそばに「Barステーション」を設けて、お酒やグラス、おつまみなどをまとめて収納しています。従来であればこうしたものはキッチンそばに収納すると思いますが、ダイニング側にあることで食事の流れのなかでお酒をセレクトすることができずし、誰かが食事の手を止めてキッチンとダイニングを行ったり来たりする必要もなくなります。さらに、収納の扉を開いた瞬間にお酒がずらりと並んでいることで、家にお招きしたゲストのみなさんに「わあ、すごい！」と喜んでいただくことができます。ただ片付けるのではなく、日常に楽しさを演出していくことがタイディアアップの目的なんです。

その人の「好きなこと」を、ストレスなく行うことができ、暮らしが回るようになる。そのためには、その人がそこでどんな暮らしをされているのか、そして、どうしたらその人が笑顔になるかをしっかり考えていくことが重要です。



# Model House

SHINKAの家× Tidyup  
新モデルハウス公開中！

行動に合わせた動線計画、可変性のあるプランニング、キレイを維持する「Tidyup Station」。この3つを大切に設計したモデルハウスです。

お問い合わせは・・・和建設 住宅事業部まで！  
岡山 ☎ 0120・885・871  
高知 ☎ 0120・806・012



倉敷市  
平田  
モデルIV

岡山市  
大和町  
モデル

高知市  
福井東町  
モデル

## 「自分でタイダイアップをしたい」という場合、どうすれば良いのでしょうか？

基本となるのは、収納のなかにあるものを全部出してグループをつけて分類し、そのなかから「いるもの」「いらぬもの」に仕分けて、いるものを収納に戻すという方法です。これは、どの片付けの本や雑誌でも同じことが書かれていると思います。

その上で私がアドバイスしているのは「あなたが大切にしているもの」を優先して仕舞ってください、ということですが。

たとえば、「私は小説を読むことが大好きだけど、本棚には書類もいっぱい入っている」というときには、まず小説だけを棚へ戻します。次に書類をどう仕舞うか考えますが「棚に戻すと小説本が取りにくくなってしまおう」というなら、本当にその書類が必要なのかを改めて考え、必要なら別の置き場所を考えます。つまり、大切にしたいものをストレスなく、ハッピーに使えることを優先していくんです。

また、置き場所を決めるときは「この物がどこにあるとより使いやすいか」を考えます。たとえば掃除道具なら「どこにあれば、私は掃除をする気分になるんだろう」とイメージしてください。「なぜそこに置くの？なぜそこに仕舞うの？」と自分自身に問いかけていくと、より良い置き場所が見つかると思います。

とはいえ「なかなか決められない」「自分が何を大切にしたいのか分からない」という方も多いです。誰かに決めてもらうのは簡単ですが、暮らしのなかで使いやすい状態をキープしていくのはその人自身ですから、ご自身で納得して片付けていただくことが大事です。タイダイアップには、自分の気持ちや生き方ときちんと向き合っていくことが欠かせません。それによって不要なものを断ち切れるようになったり、大切なものはより大切にできるようなったり、自分自身も変化していくんです。

## タイダイアップは奥が深いんですね。

でも、決して大きなものではないんですよ。整理整頓のこととなると「ちゃんとした」と思い詰めてしまう方がいますが、本来は「ちゃんとしたい」のではなく、そこで気持ちよくお茶をしたいとか、ただ寝転がりたいとか、視界からものを無くしたいという、「したいこと・大事にしたいこと」があるはずなんです。素直に、どんな生活をするか自分が幸せになるかを考えれば良いんです。

また、いつも完璧にきれいにしておかないといけない、ということでもありません。家にお客さまが来たときにサッと片付けられるように、収納する場所が決まっていれば良いんです。片付けや整理整頓をストレスにする

のではなく、ハッピーなことにしていくのがタイダイアップの考え方です。

## 新しいSHINKAの家のモデルハウスでは、片岡さんと和建設がタッグを組んで、収納の中心までプランニングを行いました。見どころを教えてください。

もともと和建設さんは、家づくりにおいて「その人がどう暮らしたいか」を大切に考えられており、私が入り組むタイダイアップの考え方や重なる部分が多いと感じています。かゆいところに手が届くような、優しさにあふれた家をつくられていますが、今回私が参加してリアルな収納方法まで再現・ご提案したことによって、その優しさを可視化することができたのではないかと思います。

今回はそれぞれのモデルハウスで、そこで暮らしているご家族をイメージした収納をリアルに再現しています。岡山市大和町モデルはパン作りが趣味のご家庭、倉敷市平田モデルIVはスポーツ好きのお子さんやペットがいるご家庭、高知市福井東町モデルは「おきゃく（宴会）」が好きなご家庭です。ただ整理整頓されているだけでなく、収納棚の中身からそのご家族の楽しい暮らしを想像できると思っていますので、ぜひご自身の好きなことと重ね合わせながらご覧ください。

## Tidyup 代表／片岡牧子

東京生まれ。2児の母。キッチンウェアメーカーや設計事務所での勤務時代に多くの住空間に触れたことをきっかけに整理収納アドバイザーの資格を習得。2021年より部屋も心も整えることを目標にしたオンライン片付けコーチング「Tidyup」をスタート。現在、光文社発行の雑誌「Mart」の公式アンバサダー・Martistも務める。

# New style in mansion



モデルプランをよりリアルにご体感いただけます！

和建設マンションギャラリー（高知市）では、各モデルプランをVRでご体感いただけます。また、WEB サイトでもバーチャルルームを公開予定です。

ビ・ウェル追手筋に関するお問い合わせは…  
☎ 0120-383-070 (10時～18時、水曜日)



マンションギャラリー（予約制）：高知市北本町4-3-23  
<https://www.kano-kensetsu.com/bewell/otesuji/index.html>

## Natural modern



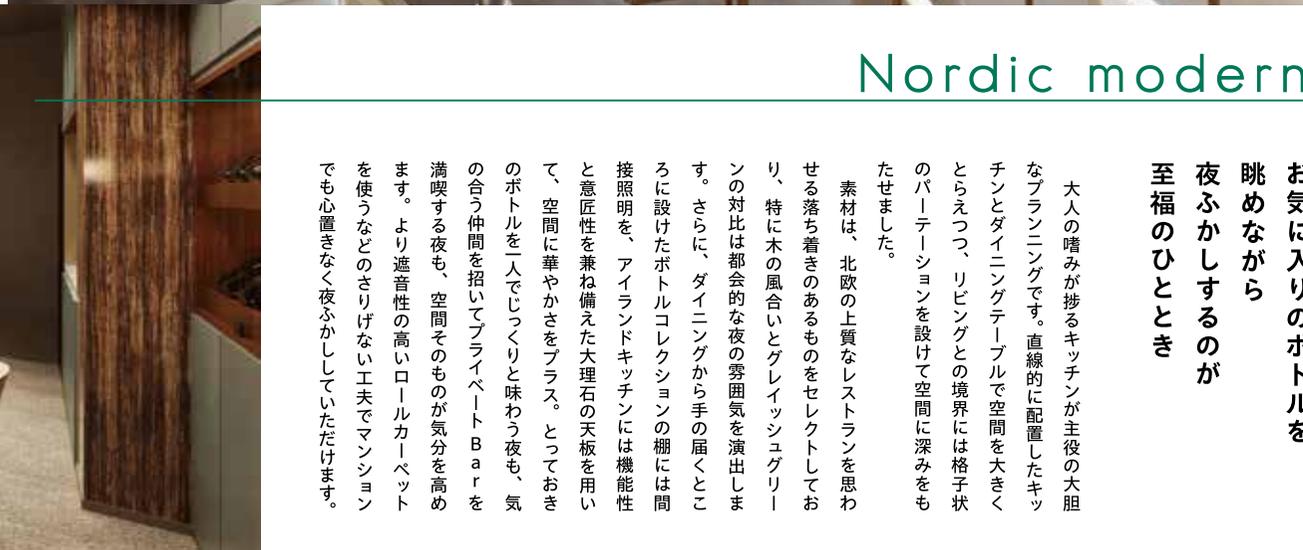
陽の光を感じながら  
穏やかに  
家時間を過ごしたい

床は素足で歩いても気持ちのいいサイザル麻を、リビングのアクセントウォールは豪州の伝統ブランド・Haymes Paint社の環境に優しい塗料で質感豊かな表情を……見た目だけでなく五感すべてで自然の風合いを感じられ、多様な質感を楽しめる素材をセレクト。オフホワイトと木調をメインにした柔らかなカラーのなかに、ダークグレーの差し色を加えることで、空間全体を大人っぽく引き締めています。

間取りの特徴となるのは、窓辺のニッチの空間を利用した小上がりスペース。窓から差し込む光が暮らしを彩る演出へと昇華され、コーヒーを飲む、本を読む……そんな何気ない時間さえも人生の豊かさへとつながっていきます。また、リビングダイニングとの緩やかな一体感によって、パートナーや家族の気配を感じられる安心感も。穏やかでありながら、かけがえない幸せを日々実感できる暮らしをイメージしています。

「分譲マンションでも自分らしい暮らしを叶えたい」そんな想いから、間取りやデザインを自由に変更できる「リアルオーダーメイド」を導入しているビ・ウェルシリーズ。さらなる高みを目指し、高知の最新分譲物件「ビ・ウェル追手筋」では、日常に悦びが生まれるようなモデルプランをご提案しています。和建設だから実現できる表情豊かな分譲マンションのカタチをぜひご覧ください。  
デザイン監修／COTONA Inc.

## Nordic modern

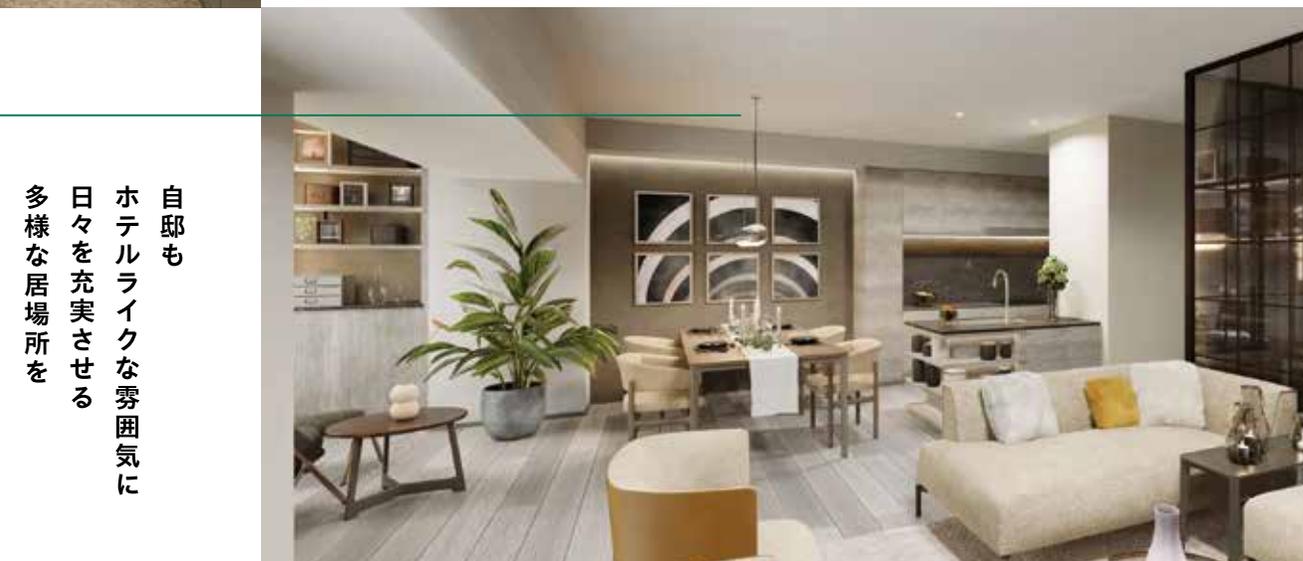


お気に入りのボトルを  
眺めながら  
夜ふかしするのが  
至福のひととき

大人の嗜みが捗るキッチンが主役の大胆なプランニングです。直線的に配置したキッチンとダイニングテーブルで空間を大きくとらえつつ、リビングとの境界には格子状のパーテーションを設けて空間に深みをもたせました。

素材は、北欧の上質なレストランを思わせる落ち着いた色合いのものをセレクトしており、特に木の風合いとグレイッシュグリーンとの対比は都会的な夜の雰囲気演出します。さらに、ダイニングから手の届くところに設けたボトルコレクションの棚には間接照明を、アイランドキッチンには機能性と意匠性を兼ね備えた大理石の天板を用いて、空間に華やかさをプラス。とっておきのボトルを一人でじっくりと味わう夜も、気の合う仲間を招いてプライベートBarを満喫する夜も、空間そのものが気分を高めます。より遮音性の高いロールカーペットを使うなどのさりげない工夫でマンションでも心置きなく夜ふかししていただけます。

## Italian modern



自邸も  
ホテルライクな雰囲気  
日々を充実させる  
多様な居場所を

床はグレイッシュな色合いで幅広の板材を選び、ダイニングスペースには象徴的なペンダントライトと、間接照明で照らされたお気に入りのアートを。そして、風合いのあるファブリックや、陽光が反射するガラスを適所に置き、ソファは動きを感じさせる配置に……そんな緻密で徹底したこだわりが、非日常的なリラックス感とラグジュアリー感を生み出します。間取りは、気分によって使い分けられる多様な居場所を用意しました。空間の中心となるダイニングはゆとりをもたせ、リビングは間接照明をきかせた飾り棚や最大77インチまで置けるテレビボードなど造作家具によって優雅な暮らしを演出しています。

一方、グレーガラスのパーテーションを設けたワークスペースと、空間にわずかなくほみを付けたフレッシュコーナーには、リビングやダイニングとは異なる居心地の良さがあり、暮らしに多様な充実感をもたらします。

# オーダーメイド図鑑

001

住まう人それぞれにぴったりの間取りをつくる  
それがビ・ウェルのリアルオーダーメイド。  
今回はこんなお客さまのこんな間取りをご紹介します。

**夫「55歳」**  
コミュニケーション上手な管理職。  
たまに疲れて一人になりたいときがある。  
5年前に海釣りの世界を知り、  
最近は自作ルアーの沼にハマっている。



今回の  
お客様

好きなことに  
夢中に  
なりたい夫婦。

**妻「55歳」**  
控えめな性格だが職場では事務職の  
プロフェッショナルとして尊敬を集める。  
街の図書館で借りた海外の女性作家の小説を  
紅茶片手にじっくり読むのが休日のルーティン。

**和** 建設の新築分譲マンション「ビ・ウェル」は、住む人それぞれのライフスタイルに合わせて間取りやデザインを自由に変更できる【リアルオーダーメイド】を特徴としています。お客さまのライフスタイルをヒアリングして最適なプランを考えるコーディネーターや営業スタッフと、一邸一邸異なるプランをきちんと形にしていける施工現場のスタッフがいるからこそ実現できる、他ではなかなかできない、かなり自慢の特徴です。そんなビ・ウェルのリアルオーダーメイドをもっと知っていたらどうとスタートしたのが本コーナー。毎回、架空のお客さまを迎えて営業スタッフやコーディネーターが本気でプランをご提案します！  
今回のお客さまは50代のご夫婦です。お子さまは独立し、そろそろ定年退職後のことも気になりはじめた頃。「これから見据えて夫婦二人の暮らしを再設計しよう」と、利便性の高い街中の分譲マンションをご希望されました。そんなお二人のためにご提案するのは『それぞれの趣味に夢中になれる』プランです。二人暮らしにちょうどいい広さの物件ですので、壁や個室を増やして趣味部屋を確保しようとする閉塞感が生まれてしまいます。そこで、フロアはLDKと主寝室の二つだけ、というシンプルな間取りにし、それぞれの一角に趣味を楽しめるスペースを取り入れました。年齢を重ねるほどに趣味は重要度を高めていくので、ちょっと贅沢な設えにしたのもポイントです。

## 1 お部屋のイメージは“大人ナチュラル”

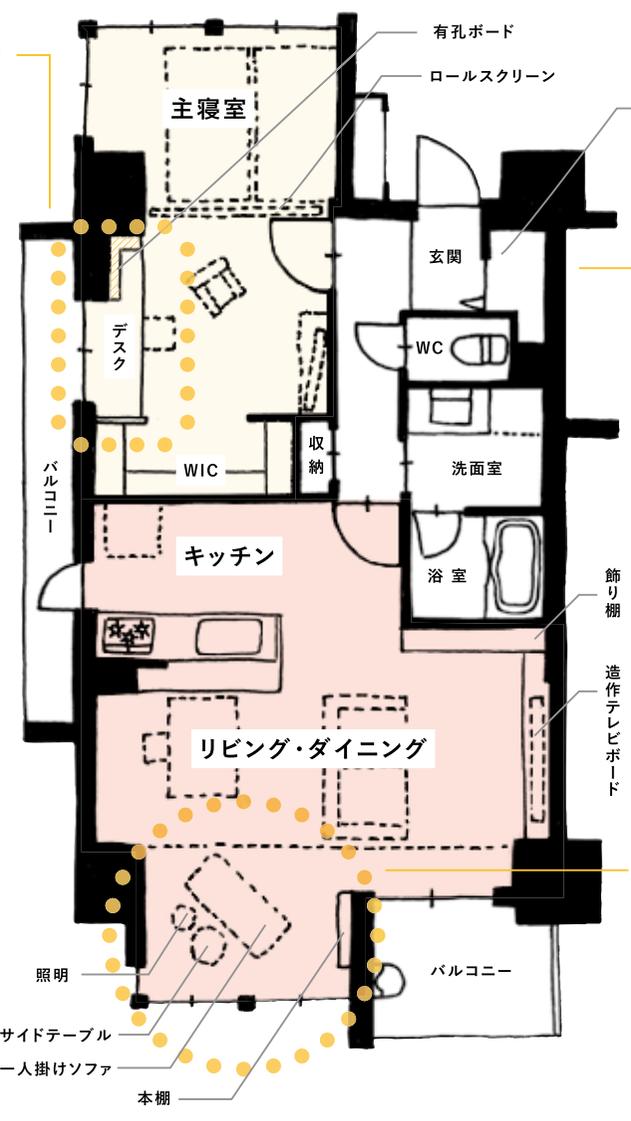
ご夫妻の穏やかなお人柄に合わせてお部屋全体の雰囲気は優しいトーンにまとめます。床は木目の表情があっても色も落ち着いたオークに。壁は清潔感のある白を基調にして、年齢を重ねてもしっくりくる大人のナチュラル感を演出します。

## 3 奥さまのためのくつろぎスペース

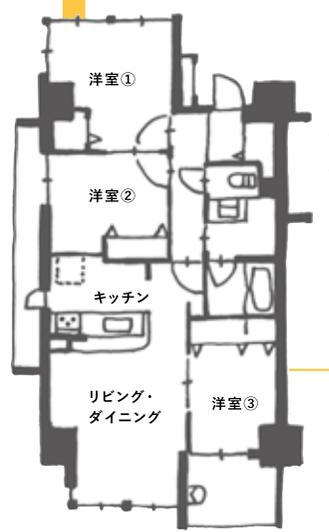
LDKのなかでも特に陽あたりの良い位置に一人掛けソファとサイドテーブルを置いてくつろぎスペースに。図書館で気になる本をたくさん借りてこられるように小さな本棚を、そして、たまには紅茶を飲みながら夜ふかし読書も楽しめるようスタンドライトも設置。一部天井を下げた下り天井にすることによって、LDKとはまた違う居心地を感じられるはずですよ。

## 2 ご主人のための趣味コーナー

主寝室の一角に釣り道具のお手入れやルアー作りを楽しめる横幅2mの大きな造作デスクを設置。併せて、壁と柱の部分を生かしてL字型の有孔ボードを取り付け、リールやルアーのコレクションを飾っていただけます。



**REAL ORDER MADE!**  
部屋数は4室からLDKと主寝室だけの2室へアレンジ



[ベースプラン]  
**ビ・ウェル追手筋(高知) Aプラン**  
ただいま分譲中!

高知県屈指の繁華街のご真ん中に建設中。高知が誇る多彩でおいしい飲食店をはじめ、デパートや図書館などが徒歩圏内にあり、楽しい毎日が期待できます。Aプランは3LDKになっており、ファミリーで住みたい方や、ご趣味の部屋を持ちたい方に最適です。

**私をご提案します!** 高知ビ・ウェル事業部: 豊浦佳朗 (営業担当)

ご主人はやや体格が大きいので、できるだけ広い間取りとシンプルな動線を大切にしました。大きなフロアはLDKと主寝室の二つだけにしましたが、ロールスクリーンや下り天井を活用してお部屋全体に多彩な居心地を感じられるようにしています。

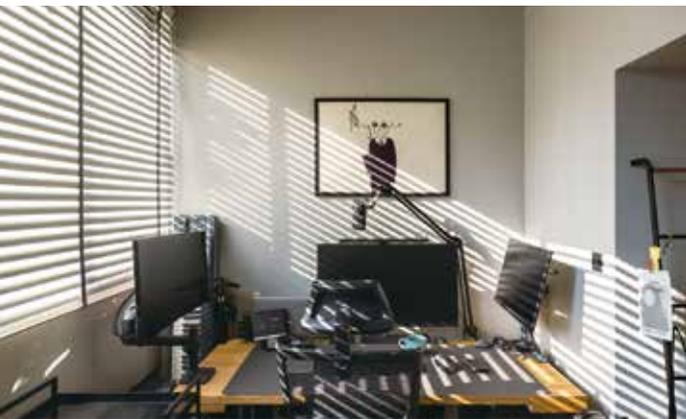


# 変化を楽しむ 自在な住まい。

高知県 / Mさまご一家

今回おじゃましたのは分譲マンションビ・ウェルにお住まいのMさまのお宅。ご夫妻は中心街で雑貨店を営んでおり、奥さまは「自宅(家事)」と店舗(仕事)を行き交い、ご主人は「自宅に仕事場を設けてSNSを中心にオンライン販売」に力を注いでいます。

「暮らしに関わるものを取り扱っているので、私たちにとっては仕事とプライベートを分けることが自然。生活をすることはもちろん、『いかに楽しく仕事ができるか』も重要でした」そう話すご夫妻には、お店で取り扱っている商品をご自宅で実際に使いながら、その様子を写真に撮ってSNSで発信したいご希望がありました。ビ・ウェルのリアルオーダーメイドを駆使し、目指すは写真映えのおしゃれな住まい。壁はご夫妻が好きなグレーで統一。パーテーションや窓のフレーム、スイッチカバーやドアノブなどは黒でそろえつつ、床は柔らかな印象のナチュラルカラーにしたことで、甘すぎない北欧テイストに。「自宅」で仕事をするご主人には、良い緊張感を与えるカッコよさと、どんなデザインのインテリアもサマになる親和性の高さをそなえた空間となりました。



特徴的なのは、暮らしの中心となるダイニング。ここはリビングよりも一段高いスキップフロアにしています。空間を広く見せるには床をフラットにしたほうが良いと思われがちですが、コンパクトな空間の場合は段差をつけることで視界の印象が変化し、感覚的な広さを感じられるようになります。また、ダイニングと南側に隣接するご主人の仕事場は透明アクリルのパーテーションをわずかに角度をつけて設置し、ここでも空間の広がり演出。パーテーションが透明なので、デスクスペースの窓に入った光はブラインドの影をまとめてダイニングへと差し込みます。そのときの空間のカッコよさは格別！毎日眺めても惚れ惚れする光景です。

そして、日暮れとともに存在感を増すのが、ご夫妻がセレクトしたペンダントライトです。ダイニングの天井には照明を気軽に付け替えたり、照らす位置を調整したりできるライティングレールを採用しました。変化を楽しむ工夫はトイレにもあり、ミラーやライトを自由にディスプレイできるよう、棚やコンセントを配置しています。「トイレはこだわった場所。あまり変化をしないところほど変化させていくことで、日常が豊かになるように思いました」と奥さまは語ります。

「自分たちが選んだアイテムを、自分たちの暮らしのなかで使えるというのは贅沢なことだなと感じます。でも、最初はマンションでここまで出来るとは思っていませんでした。和建設さんに『自分たちがしたいようにできますか?』と聞いたら『できます!』と言っていただいて、実際に私たちが思い描いていた通り...いや、それ以上になったと思います!」(奥さま)

自在な変化を楽しむ住まいが、Mさまの暮らしも仕事も、より充実したものにしています。

1.ご夫妻の好きなグレーを基調に、光や影、素材の質感にもこだわった空間●2.ダイニングを照らすペンダントライト。ライティングレールを設置し光の変化も楽しめる●3.ご主人の仕事部屋から入る光が空間に表情を生む●4.お気に入りの絵を飾ったご主人の仕事部屋。適度なおもり感で仕事に集中することができる●5.プロジェクターや室内干しも設置した寝室●6.生活感を感じさせるものは家事動線にあるパントリーに集約●7.タイル、洗面ボウル、黒の蛇口などことごとこだわった造作の洗面台。鏡の裏は収納に●8.可変性を楽しめるペンダントライトや、足元の間接照明にこだわったトイレ●9.「モデルルームで目にして気に入った」という造作ベンチ。実は収納BOXになっている

DATA

家族構成：夫婦・子ども2人  
専有面積：103.00㎡

3LDK+WIC  
完成：2021年5月



Mさまのお店の情報はこちらから >>> [https://www.instagram.com/zakka\\_zoo/](https://www.instagram.com/zakka_zoo/)





# 本日も WAKKA じより

2

挑め！人生初テント！

今回の ITEM



アメニティドームS [対応人数:3名]  
35,200円(税込)  
初めての設営や女子キャンにも  
おすすめの、スノーピークの  
超ベストセラーテントです!!

店頭でキャンプデビューをされるお客さまとお話をしていると自分たちの人生初のテント設営のことを思い出します。初めて設営方法を教わったのは、店のオープンに向けて挑んだ研修でした。スノーピークのスタッフさんがいてねに教えてくださったのですが、緊張と焦りでプチパニックとなり、「自分で設営した」というには程遠い状態でした。リベンジとなったのは和建設の新人研修。当社の研修はスノーピークおち仁淀川

のキャンプフィールドで実施しており、密かな重要任務としてテントの設営作業があります。私たちは「自力でテントの設営ができるようになる」と意気込んで出動！設営が得意なスタッフにアドバイスをもらいつつ、WAKKAスタッフ2人で協力しながら設営を行いました。順調に、とはいきませんでしたが、手を動かし手順を理解できるとどんどん面白くなっていきました。二人で力を合わせることも楽しく、こつこつマイペースながら

ら無事に設営することができました。ペグやハンマーは実際に使ってみて、その良さや使い方のコツを実感することができ、それが現在の店頭でのご案内でも役立つと思っています。初めてのことに挑むって大切ですね。 昨年は長雨やコロナ禍でなかなかテントを使えなかったのも、久しぶりの設営でまたアタフタしてしまうかもしれませんが、今年もテントを広げているなことに挑みたいですね。

岡山県で分譲マンション「ピ・ウェル」のコーディネートを担当している武藤優子と申します。私は10年前から「旅行」を趣味にしています。きっかけは友人の「松井秀喜記念館へ行きたい」という突然のひと言でした。それまで旅行に興味はなかったのですが、上がったと思ったら素敵な景色があるんじゃない？と心ときめかせながら駆け上がったので、すが見事なまでに何もありませんでした。あんなにも「瞬でときめき」が「無」になることは、そうないなと思います。



私は「磨くこと」が趣味ですが、時々「潔癖症なんですか?」とご質問をいただくことがあります。いえ、決してそうではありません。私はただ、「つやつやに磨くこと」が好きなんです。 ふと、この趣味はいつから始まったのか考えてみました。自分自身で「磨くことが好き」と気がついたのは高校時代です。当時、吹奏楽部に所属していましたが、演奏よりも楽器のお手入れに夢中になっていました。特に磨きがいを感じたのは、フルートやサクソなどの管楽器。金メッキは指紋の跡が目立ちやすい素材ですが、ていねいに拭き取りながら磨けば眩しい輝きを放ちます。それを見るのがうれしくて友人の楽器まで磨いていました。友人は「ありがとう」と喜びながらも、きっと不思議に思っていたことでしょう。 なかなか共感してもらえない趣味かもしれませんが

つやつや日記

上がったと思ったら素敵な景色があるんじゃない？と心ときめかせながら駆け上がったので、すが見事なまでに何もありませんでした。あんなにも「瞬でときめき」が「無」になることは、そうないなと思います。 金沢でいろんな経験ができてすっかり旅行好きとなり、以来国内のあらゆる旅を旅するようになりました。二応計画は立てるのですが、私も友人も旅行となるとなぜか「いい加減」に進めてしまうクセがあり、現地ですらタタキながら進みます。このコラムではそんな旅の思い出をお届けできればと思っています。よろしくお願いたします。

【文】岡山支店企画部 武藤優子



【文】本社企画部 赤松由梨花



筋トレは 1ヶ月には 筋肉が 2倍 になる

みなさん、筋肉は元気にしていますか!? 前回のコラムでベンチプレスで60kgに挑戦しているを書きましたが、おかげさまで持ち上げることができました。しかし、慢心することでも満足することもなく、さらなる高みを目指して精進しているところです。

ところで、筋肉をしっかりと使ったあとに欠かせないものといえば「プロテイン」です。おね。酷使されて傷ついてしまった筋肉細胞をタンパク質でしっかりと癒し、元気を与えてくれるプロテイン……筋肉とプロテインはまさに理想のパートナーだといえます。

筋トレを支えてくれるプロテインに対して僕は誠実でありたいと考え、ずっと「イチゴ味」ひとすじでやってきました。しかし、最近のプロテインはバナナ、メロン、カフェオレ、バナナなどさまざまなフレーバーがあり、ラムネ味や味噌汁味などの個性派まで登場。僕もついチョコ味に手を出してしまいました。でも、離れてみて初めて気がついたんです……僕のパートナーはやっぱりイチゴ味しかないんだと……！チョコ味を使いきって一刻も早くイチゴ味に戻ることができるよう、もっと筋トレを頑張らねばと思います。待っていてね、イチゴ味!

【文】岡山・住宅事業部 戸田智大

# MAMENOKI PRESENT

プレゼント付き読者アンケート  
アンケートにお答えいただいた方の中から  
抽選で素敵なアイテムをプレゼント!

応募フォームはこちら  
<https://form.run/@mamenoki>

QRコードまたは上記URLから専用応募フォームへアクセスし、ご入力ください。  
※通信費は応募者負担となります。予めご了承ください。

1名様

倉敷織通 玄関マット (60cm×120cm)  
表地はサラリとした感触のリング糸、裏地にはイ草を使い一年中快適にお使いいただけます

3名様

スノーピークチタンシェラカップ & base works レザーハンドルカバーセット  
人気のチタンシェラカップと、WAKKAとbase worksがコラボ制作したレザーハンドルカバーをセットでお届け。  
※ハンドルカバーの色はおまかせになります

## SHOP INFO

wakka ☎088-885-0880  
LABO, kanau ☎0120-383-070

みなさまの日々の暮らしがもっと楽しくなることを目指し、高知市内でショップやレンタルスペースを展開しています。ぜひお気軽にご利用ください。最新情報は各店のInstagramをチェック!



アウトドアショップ  
高知市北本町3-9-3  
ピ・ウェル高知駅前 1F



レンタルスペース  
高知市南御座6-10  
高知薦屋書店3F



レンタルスペース  
高知市帯屋町1-13  
ピ・ウェルおびさんロード1F

## 地上のヨット



**高**知東部自動車道の現在の終点は、ゴルフーナメントのカシオワールドオープンが開催地でもある「KOCHI黒潮カントリークラブ」近くの「芸西・西」となっています。そこを出て、西へ500m程戻った道沿いの太平洋を望む場所に、突然、ヨットが置かれているのが見えてきます。2年程前になりますが、私の友人から「ちょっと気になるヨットがあるので西宮のヨットハーバーへ一緒に見に行かないか」と誘われて同行しました。持ち主が新しいヨットに買い換える為、古いヨットの買い手を探しているとの事で、友人は丁寧につくられたアンティークな雰囲気の内装がとても気に入り、これを購入する事となりました。しかし、友人はクルーザーは操船しますが、ヨットは乗りません。彼はこ

れを地上に置いて数人が宿泊できる様にしたら楽しいだろうと考えていました。そこで、それならば私もその横に大小二つのコンテナを組み合わせたオシャレなコテージを造って、もっと多くの人が泊まれる様にしようと提案し、その準備を進めてきました。実はこの一年程、新型コロナによる物流の変化で世界中がコンテナ不足になってしまい、昨年夏に新しいコンテナを発注したものの、いったいいつになったら到着するのかすら判らないまま、半年以上が経ちました。そして先月、やっとコンテナ外装部が出来てきましたので、これから現地に設置し内装工事にかかる予定です。自分達が楽しみながら造っていくので、完成は未定ですが、そう遠くない時期に仕上がると思います。ロジックとして一般に貸し出そうかなども含めて、友人と二人でどの様に活用していこうかと考えている所です。その詳細が決まりましたら、改めて御案内もさせていただきますので、その節にはよろしくお願い致します。



文：中澤 陽一 和建设（株）代表取締役

資格／一級建築士・一級建築施工管理技士 経歴／武蔵野美術大学卒業。父の跡を継ぎ、1981年に代表取締役役に就任。1995年に岡山営業所を開設。岡山・高知両県で分譲マンション、賃貸マンション、戸建住宅など数多くの建築に携わる。また、街づくり活動にも力を注ぎ、高知市中心商店街の活性化イベントや文化事業のサポートを行う。

**Kano 和建设株式会社**

<https://www.kano-kensetsu.com>

📷 kano\_kensetsu 🐦 kanokensetsu 📺 kano kensetsu

**高知**

本社 高知市北本町4-3-25

**戸建住宅事業部**

わっとプラザ ☎️0120-806-012  
Lim展示場 ☎️0120-806-016  
(高新住宅総合展示場ライム)

**分譲マンション事業部**

KANO PLAT ☎️0120-383-070  
(マンションギャラリー)

**土地活用事業部** ☎️088-885-5888

**ウェルライフ事業部** ☎️0120-552-046

**岡山**

岡山支店 岡山市北区北長瀬表町2-3-14

**戸建住宅事業部**

倉敷ショールーム ☎️0120-885-871  
倉敷展示場 ☎️0120-885-872  
(ハウジングモール倉敷)

RSK住宅展示場 ☎️0120-969-633

**分譲マンション事業部** ☎️0120-686-808

**土地活用事業部** ☎️086-805-1888



和建設の  
SNSは  
こちらから！



和建设は SDGs の実現を目指し、  
国産間伐材を活用した環境にやさしい紙を使用しています。

vol.189 は2022年6月初旬にお届けする予定です。お楽しみに！

今号からさらにリニューアルし、サイズアップ&増ページとなりつつ、環境に配慮して冊子や発送用封筒も間伐材使用紙になりました。また、表紙は高知在住の線画アーティスト・ヤマモトダイゴさんの描き下ろしとなっています。

「初回なので『まめの木』の『木』からイメージしました」というダイゴさん。木をお家にするキツツキがポイントとなっています。次号はどんな絵が生まれるのかとても楽しみです！